

伊豆大島における傾斜観測*

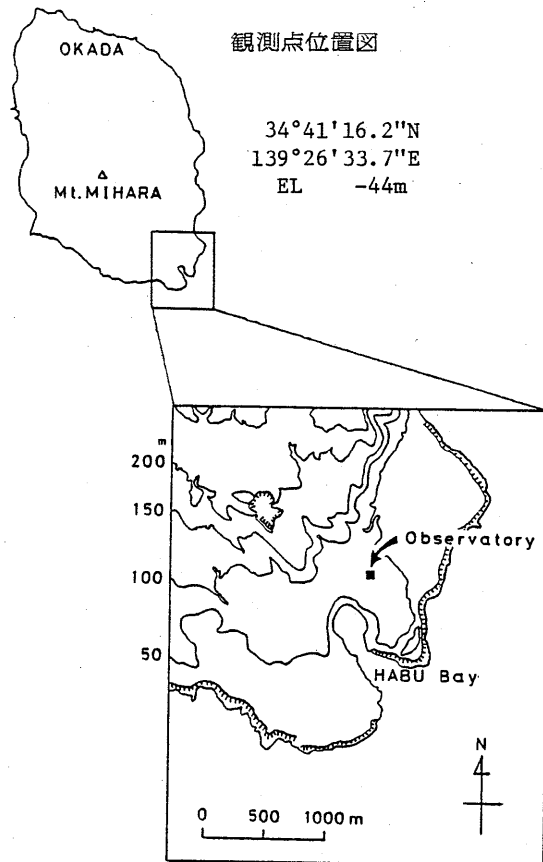
国立防災科学技術センター

まえがき

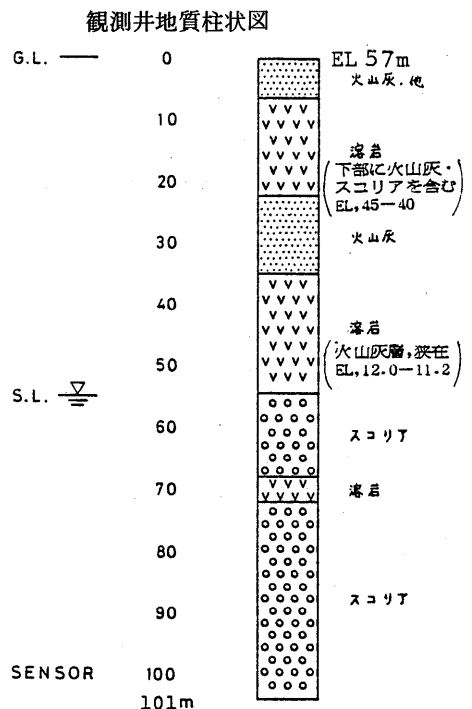
1983年4月より伊豆大島において地盤傾斜観測を開始した。これは、地震予知のために展開した観測網の1点である。

観測の概要

観測井の位置(第1図)は、東京都大島町波浮港字山口3-5、波浮小学校、北緯 $34^{\circ}41'16.2''$ 、東経 $139^{\circ}26'33.7''$ 、坑口の標高は57mで、受感部の位置は-44mの地点である。



第1図 伊豆大島における地盤傾斜観測点位置図
Fig.1 Location of ground-tilt observation point at Izu-Oshima



第2図 観測井の地質柱状図
Fig.2 Geologic column of the observation well. Location is shown by allow in Fig.1

* Received May 9, 1985

観測井は、地表面より深さ101mで、坑底付近に地盤傾斜計、地震計及び温度計が設置されている。観測井の地質の状況を第2図に示した。

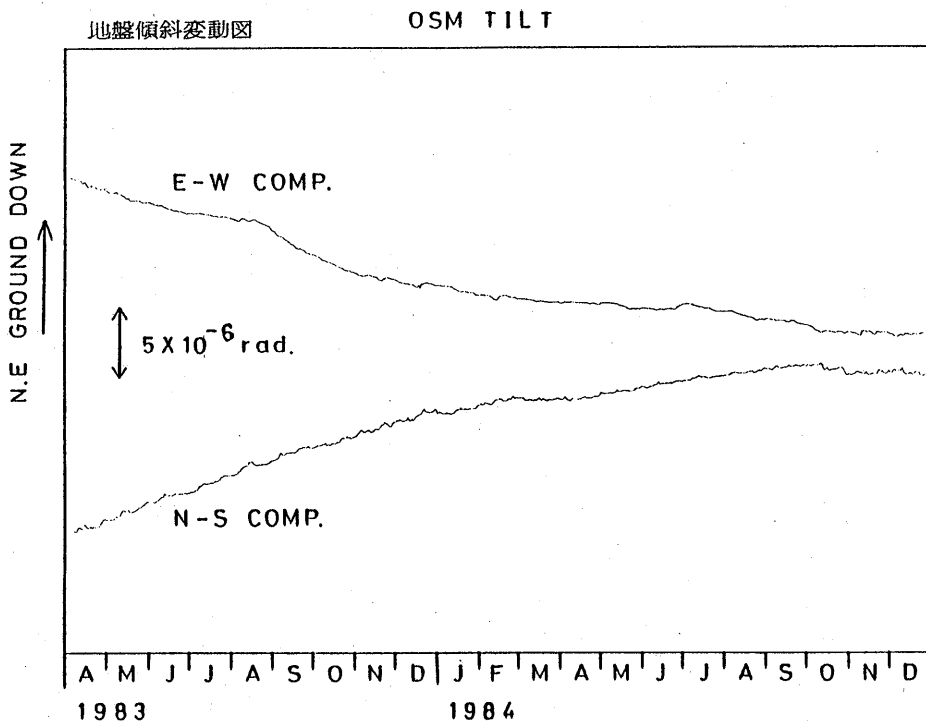
使用している地盤傾斜計は、明石製作所製の坑井用JTS-21型で、観測は水平2成分である。

観測結果

1983年4月から1984年12月までの観測結果を第3図に示す。

地盤傾斜の変動は、西下り、北下りの傾向を示している。これは、設置に伴うドリフトと考えられる。連続記録には潮位の影響が大きくみられるので、その除去の方法を検討している。

今後も観測は継続されるので、データの蓄積を図り、火山活動との対応を検討して行く予定である。



第3図 地盤傾斜変動図

Fig.3 Variation of ground-tilt in Izu-Ohshima (Habu)